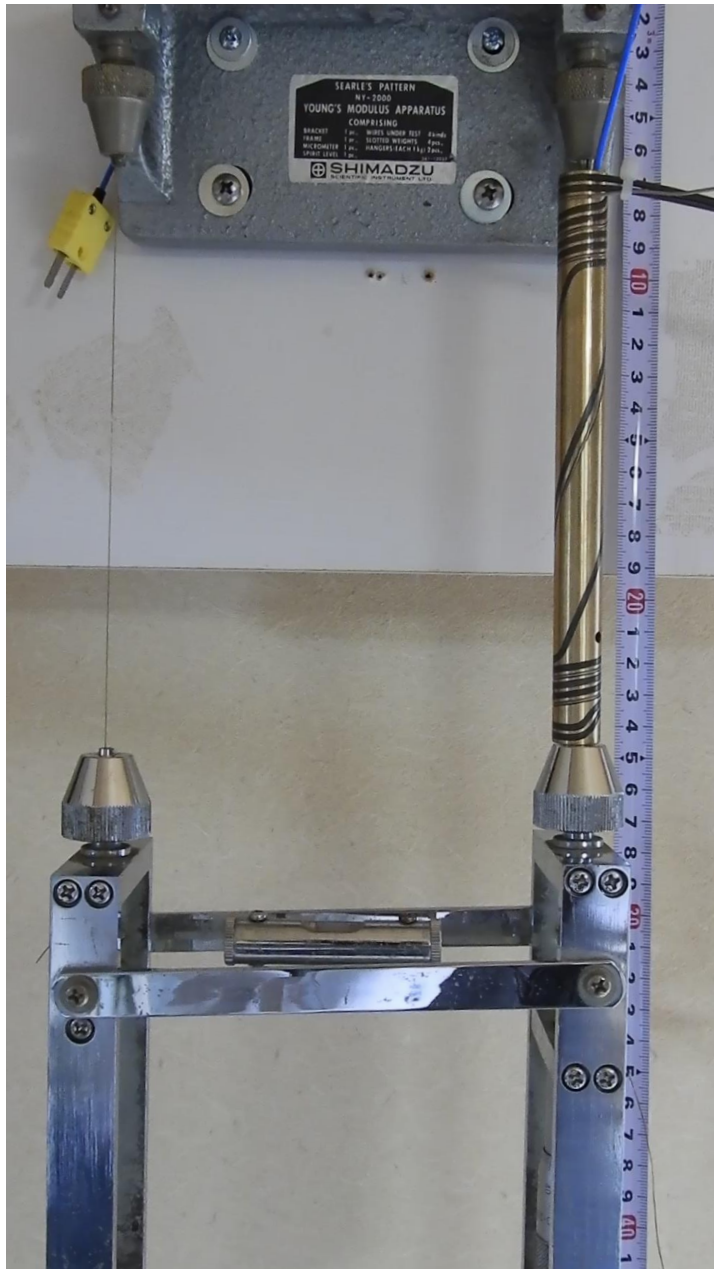
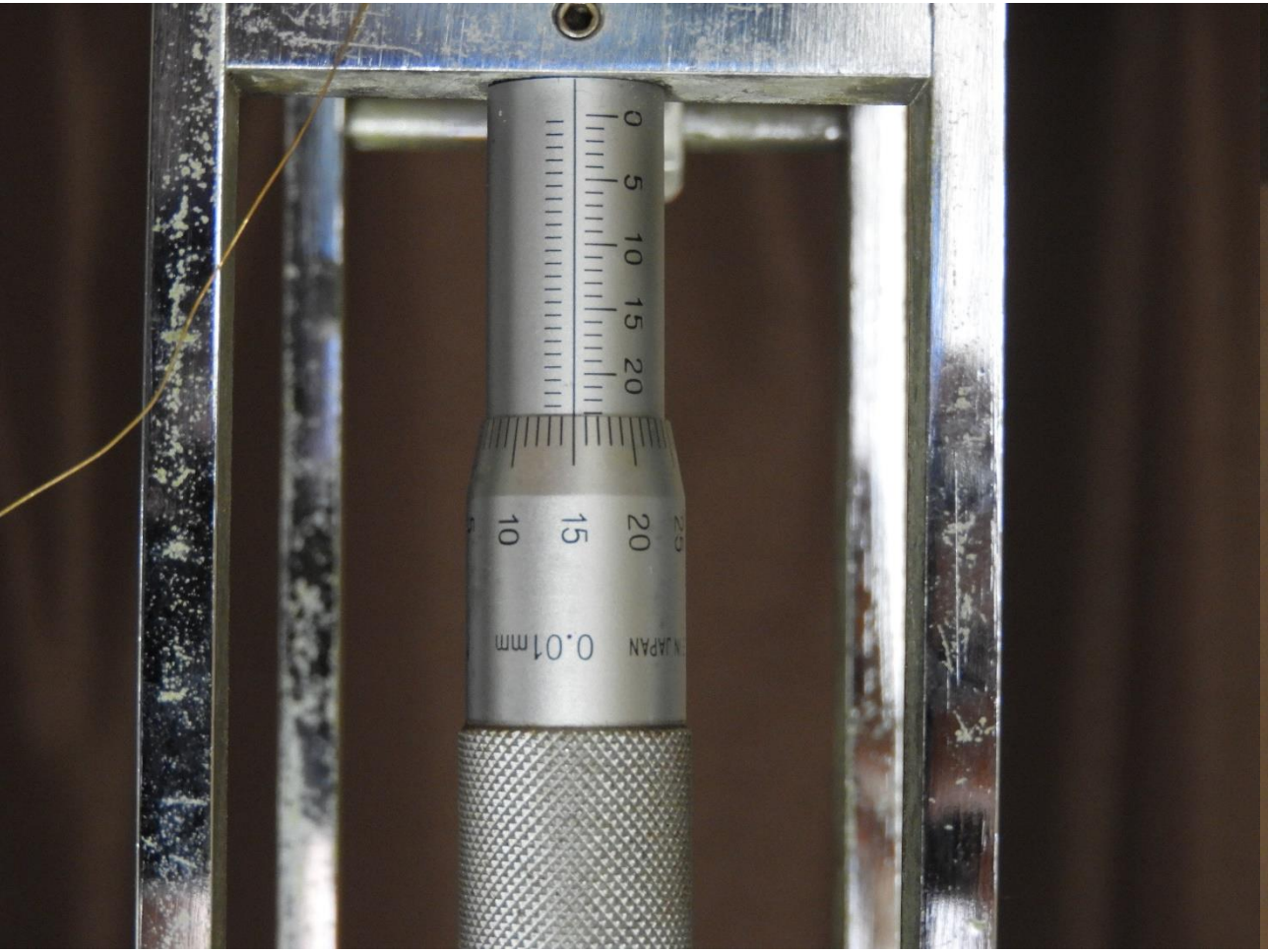
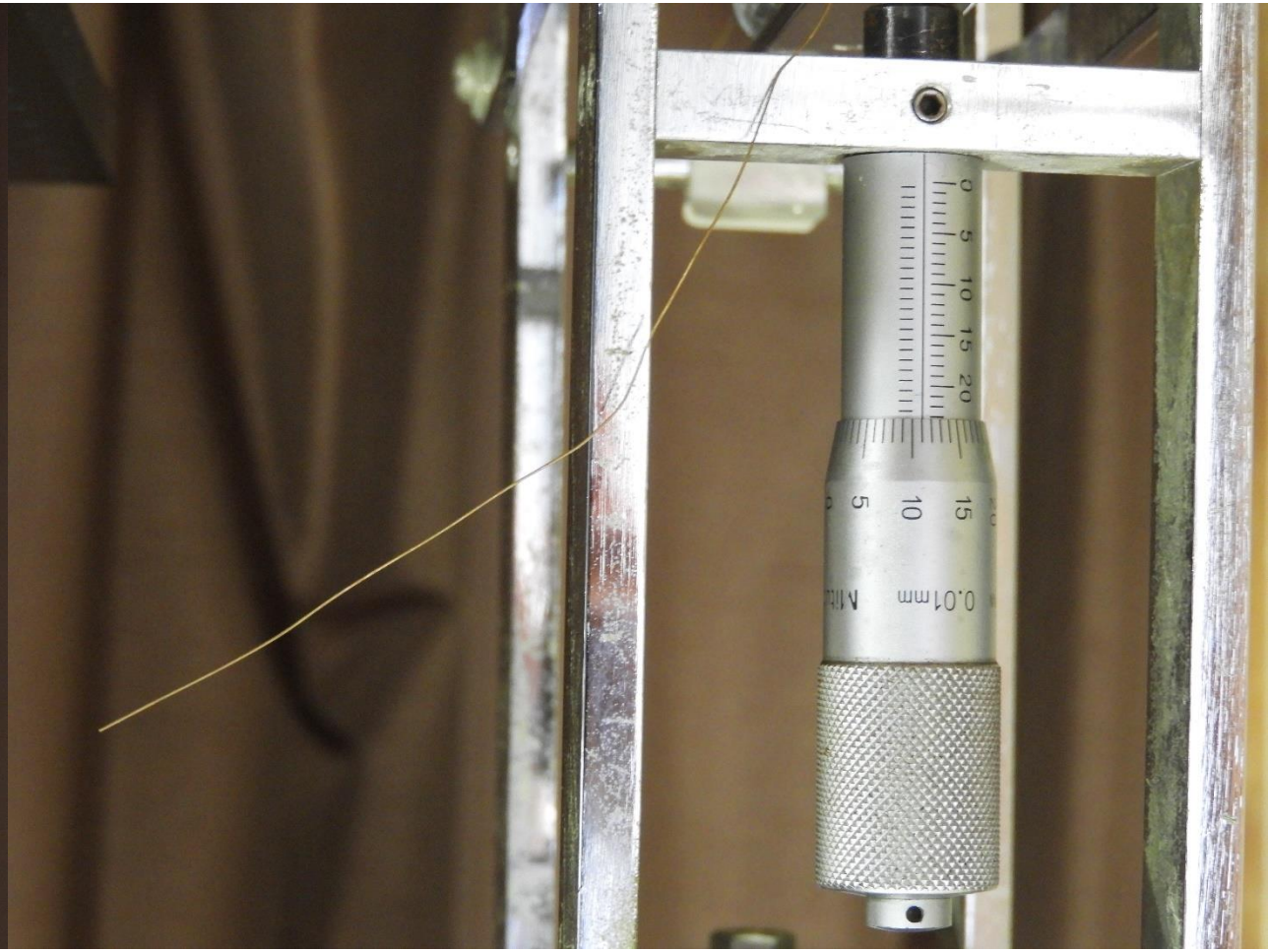


サールの装置に金属線として、真鍮線（直径0.28 mm、長さ【サールの装置の取付金具間】155 mm）を取り付けた。このとき、図のように片側の金属線に、温度センサーつきのヒーターを取り付けた。

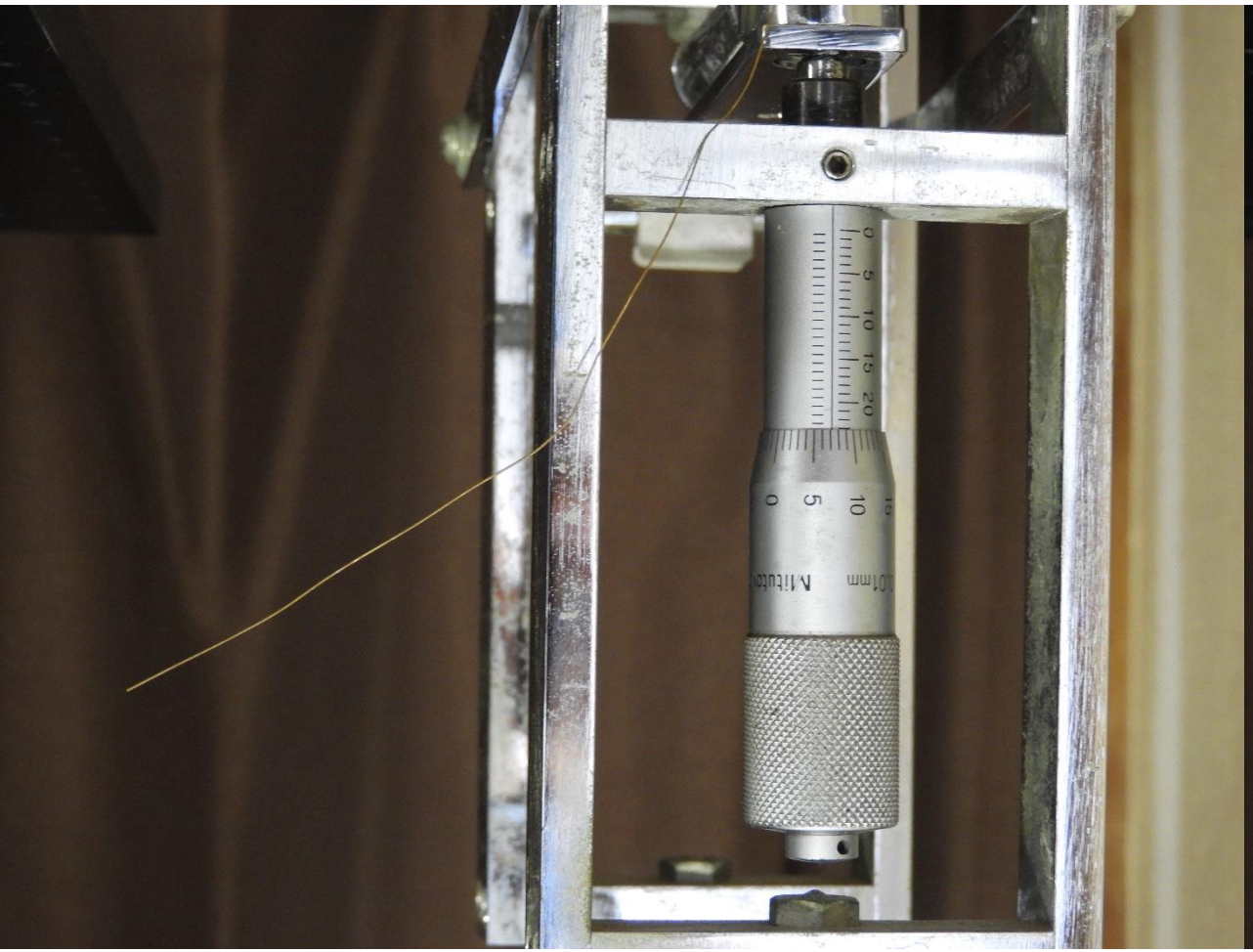
まず、室温(22.1 ℃)で水準器が水平になるように測微計を操作して、その値を読んだ。次に、ヒーターを用いて金属線を加熱し、熱平衡状態になったところで水準器が水平になるように測微計を操作して、その値を読んでいく。次の写真は、各温度で水準器が水平になったときの測微計の状態を表している。これらのデータから、何がわかるだろうか？気づいた点、調べられた内容などをレポートで説明する。



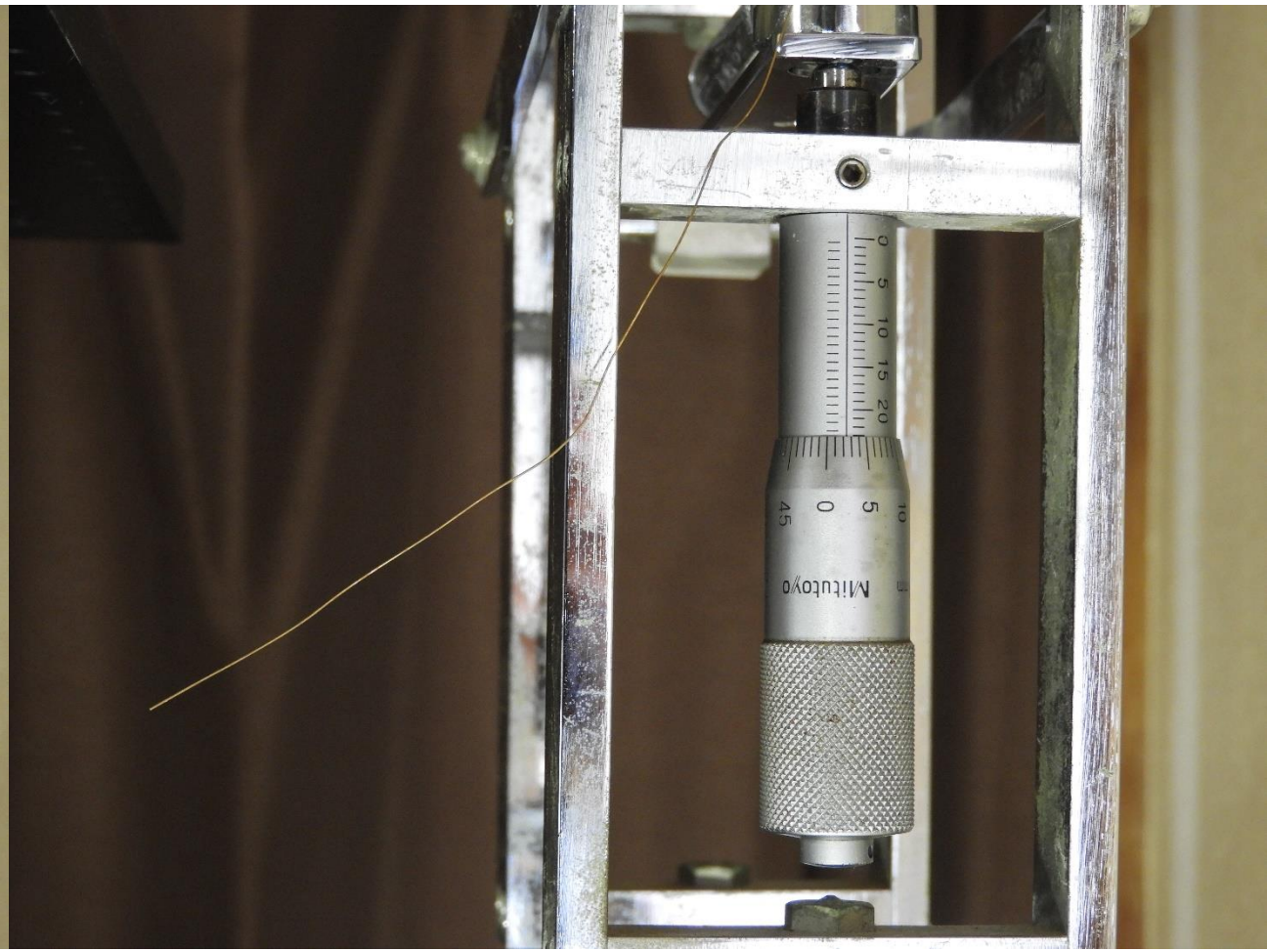
温度22.1 ℃



温度40.8 ℃



温度55.9 ℃



温度73.6 ℃